

このページでは、避難生活での疑問や、除染・補償・賠償に対する質問にお答えします

「協力ありがとうございました」

6月17日・18日

村役場飯野出張所でお聞きしました



木幡文彦さん(草野)

(質問) 震災時、仙台の学校の寮に入っていたため、東京電力の賠償の対象になっていません。住民票は当時からずっと村の実家の住所で、震災後、避難前の村にも帰っているのですが、何度も窓口で交渉していますが対象外とされています。

(回答) 進展がみられない交渉を、東京電力の窓口で、何度もされていたとのこと。ご苦労があったことと思われます。

震災当時、村に住んでいなかったということで、賠償の対象になっていないと考えられます。東京電力では、住民票があったとしても平成23年3月11日時点の生活の本拠地が村内にあったことを賠償の基準としており、生活の本拠地が村外にあった場合は賠償の対象となり得ないとの見解のようです。

村では、最近になり、同じような事例を何件か聞いており、他の被災自治体でも同様のケースがあると思いますので、国や東京電力に基準の見直しができないかどうか、申し入れをしたいと思います。



松岡艶子さん(二枚橋・須萱)

(質問) 娘が結婚し孫ができました。孫ができたなら村の自然の中で遊ばせることが夢でした。帰村後、孫を喜んで招くことができるようになるだろうか…と、考えることがあります。

(回答) 村は、国が直轄で除染する区域となっており、平成24年度と25年度で除染を完了する計画でしたが、ご存知の通り、ようやく二枚橋・須萱行政区と白石行政区の本格除染がスタートしたところです。

村では国に徹底した除染の実施を求め、村の除染計画に、当面の目標を年間5ミリシーベルト以下、長期的には年間1ミリシーベルト以下にすることを掲げ、国もこの計画に準じて除染を進めることになっています。

これまで村で行われたモデル除染の結果を見ても、除染をすれば確実に線量は下がるわけですが、放射線リスクに対する考え方は人それぞれであり、村が規定することはできないと考えております。

離れても全て村の子どもたち、との思いで各種事業を実施し、すぐには戻れないと考える人にも村の外で村との関わりを持ちながら避難を継続していただくため、「村外子育て拠点」の整備も進めております。また、放射線に対する理解を深めていただくための、リスクコミュニケーションの勉強会も引き続き実施してまいります。

いつか子どもたちが村に戻り、自然の中で安心して遊べるような環境を作っていくことが、村の責務であると考えております。

いいたてのおはなし聞かせっかい



かぶれ焦げ茶碗

一郎に三郎に五郎って言う三人の男の兄弟が居て、みんな親がら一つのかぶれ焦げ茶碗を貰って旅に出たら、道が三つに分かれているところで、一郎のかぶれ焦げ茶碗が懐の中で、しゃべんだ。こっちの道いげ。そっちの道は危ねがら行くな」と言うが、一郎は間違いない方の道を行き、三郎はかぶれ焦げ茶碗に「そっちや行くど危ねぞ」と言わちえも、そっちや行ってしまった。

一郎は指図にしたがって、間違いない生き方をして、三郎は冒険をしながら自分でしたい様にして、一人前になって帰ってきた。

五郎は泣いでもばかりいで、かぶれ焦げ茶碗は困ってしまったけど、「かぶれ焦げ茶碗と一緒にあったが寂しぐねがった」と言って帰ってきた。

「話者・菅野榮子さん(佐須) いいたて民話の会発行「飯館むかしばなし」から転載」



かぶれ焦げ茶碗とは、漆がはげ古びれた茶碗のことだそうです

お詫びと訂正

広報いいたて6月号の記事に誤りがありました。●行政区懇談会の記事(P8)に「財物賠償の効力は本来3年間」とありますが、正確には財物賠償に限らず「損害賠償請求権の効力は本来3年間」です。3年の起算日については、「それぞれの損害賠償請求の受付開始時点」という考え方が、東京電力から示されています。訂正してお詫び申し上げます。

誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ	親の氏名	行政区
花井 芽依 ちゃん	淳・春奈	大久保・外内
佐藤 紇奈 ちゃん	裕二・久美子	関根・松塚
草野 ほたる ちゃん	隆洸・真理菜	草野

すくすくと元気に育ってね

ひとのうごき

平成25年6月1日現在		
人口	今月(前月比)	昨年同期
男	2928 (+3)	2953
女	3009 (+8)	2997
計	5937 (+11)	5950
世帯数	1663 (±0)	1697

5月1日～31日までの人口動態

転入	12人
転出	2人
出生	5人
死亡	4人

(平成22年国勢調査に基づき増減された現住人口)

結婚おめでとう

氏名	行政区
大内 葵 美紀子	佐須 福島市
大田 慈 子	福島市
細川 則 子	上飯樋 福島市
小野 貴 記	福島市
高橋 香 織	上飯樋 福島市
菅野 仁 春	比曾 小宮
菅野 千 春	小宮
菅野 公 貴	小宮
菅野 真 美	福島市

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
大内 学 子	88	八木沢・芦原
佐藤 芳 郎	91	前田

ご冥福をお祈り申し上げます

(5月21日から6月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

編集後記

今年も梅雨入り。6日遅くに梅雨入り。それでも梅雨とは思えない日差しと暑さ。体調管理に気を付けなければいけませんね。飯館村の過ごしやすいや夏が懐かしい。今夏、裏表紙でもご紹介したように、全国広報コンクールで内閣総理大臣賞を受賞することが出来ました。これは、職員や関係機関の皆さんのおかげと感謝しています。今後も村民の皆さんへ村の動きなどを様々なツールを使い、村民目線で情報発信していきま。取材への協力、よろしくお願いします！(羽田)